



平成23年 5月16日  
独立行政法人 森林総合研究所

## 「国際生物多様性の日」記念シンポジウムのお知らせ 地球の恵み 森林の生物多様性 ―その価値と危機 そして希望―

### ポイント

- ・国連環境計画が定める「国際生物多様性の日（5月22日）」に合わせ、国際森林年記念事業の一つとして記念シンポジウムを開催します。
- ・本年の、国際生物多様性の日のキーワード「森林の生物多様性」に関して、それが有する価値、直面する問題、今後の管理の方向についての講演を行います。

### 概要

独立行政法人森林総合研究所は、早稲田大学と共催で、国連環境計画・国際生物多様性の日記念シンポジウム「地球の恵み 森林の生物多様性―その価値と危機 そして希望―」を、下記のとおり開催します。

### 記

1. 日 時：平成23年5月22日（日）13:00～16:00
2. 場 所：早稲田大学小野記念講堂
3. 内 容：別紙のとおり
4. 参加費：無料

### 問い合わせ先など

独立行政法人 森林総合研究所 理事長 鈴木 和夫  
研究推進責任者：森林総合研究所 研究コーディネータ 牧野 俊一  
研究担当者：森林総合研究所 研究コーディネータ 牧野 俊一  
広報担当者：森林総合研究所 企画部 研究情報科長 荒木 誠  
TEL：029-829-8130 FAX：029-873-0844

本資料は、林政記者クラブ、農林記者会、農政クラブ、筑波研究学園都市記者会に配付しています。



## シンポジウム開催の背景

---

国連環境計画（UNEP）は、2000年の国連総会において、5月22日を「国際生物多様性の日」としました。以来世界各国で、毎年異なるキーワードを冠した「国際生物多様性の日」の記念行事が開催されています。

今年の「国際生物多様性の日」のキーワードは「森林の生物多様性（Forest Biodiversity）」です。森林は生物多様性の宝庫と呼ばれ、陸上生物の7割以上が森林に頼って暮らしているといわれます。森林総合研究所では、これまで長期にわたって森林の生物多様性に関する研究を継続してきたことから、その研究成果を広く知っていただきたいと考え、今年も「国際生物多様性の日」を記念し、早稲田大学環境総合研究センターと共同でシンポジウムを開催いたします。

## 内容・意義

---

### （内容）

人間は森林に住む生物から多くの恵みを得ていますが、世界にはその森林が危機的な状況にある場所が少なくありません。こうした状況の中、私たちは森林をどのように管理すればよいのでしょうか。今年のシンポジウムではこの問題意識に合わせて、森林の生物多様性について、「その価値」、「それが直面する脅威」「将来に向けての管理」といった視点から専門家を招き、わかりやすく講演を行って頂きます。また研究者や森林行政に携わる方からのコメントも頂く予定です。なお、これらの講演の他、会場には関連する研究のポスターも展示される予定です。

本シンポジウムは一般の方々、関連分野に従事される行政機関の方々、研究者を対象としています。みなさま、お誘い合わせの上、是非お越しください。

### （意義）

2011年はおりしも国連の定める「国際森林年」に当たり、森林が人間に与えてくれる恵みと、それを持続的に利用するために人間が持つべき責任とを考える好機といえます。このシンポジウムも国際森林年記念事業として行われます。



国連環境計画 国際生物多様性の日  
記念シンポジウム

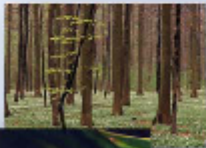


# 地球の恵み 森林の生物多様性 ーその価値と危機 そして希望ー

2011年5月22日（日）13:00～16:00 早稲田大学小野記念講堂

## 森林の生物多様性の価値

尾崎研一・滝久智（森林総合研究所）



## 脅かされる熱帯林の生物多様性ー ーその現状と保全へのアプローチー

北山兼弘（京都大学）



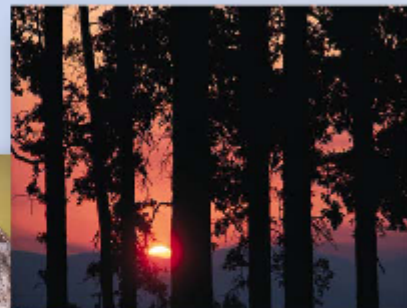
## 生物多様性保全のための順応的森林管理

藤森隆郎（元森林総合研究所・国民森林会議）



## コメンテーター

中静透（東北大学）・森川靖（早稲田大学）  
崎野健輔（林野庁）



主催：独立行政法人 森林総合研究所・早稲田大学環境総合研究センター



詳細は<http://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2011/20110522tayousei/index.html>

お申し込み、お問い合わせは [tayousei2011@ffpri.affrc.go.jp](mailto:tayousei2011@ffpri.affrc.go.jp) まで（当日参加もOK）

